

3 第4次長井市環境基本計画 施策の展開について

資料3

(1) 第4章 施策の展開の体系について

【第3次環境基本計画】

第4章 施策の展開

環境目標Ⅰ 循環を基調とした生活環境づくり

主な
実施方策

1-1 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

【重点的な施策目標】
【重点的な環境指標】
【市民・事業者の意識】
【現状と課題】
【市の主な施策】
【市民・事業者の取組み】

主な
実施方策

1-2 レインボープラン

【重点的な施策目標】
【重点的な環境指標】
【市民・事業者の意識】
【現状と課題】
【市の主な施策】
【市民・事業者の取組み】

主な
実施方策

1-3 地球温暖化対策の取組み

・
・
・

(補足説明)

3次計画の主な実施方策毎に記載していた【市民・事業者の意識】【現状と課題】については第2章にまとめ、第4章ではみんなで取り組むアクションや環境指標を中心に、わかりやすく記載したいと考えています。

【第4次環境基本計画】

第4章 施策の展開

環境目標1 地球温暖化への対応

【目指す市の姿】

環境アクション①電気や水を大切に使う

【具体的な環境アクション】

- ・市民の誰もが取り組むこと
- ・事業者が取り組むこと
- ・市が取り組むこと（市の主な施策）

【重点的な環境指標】

環境アクション②再生可能エネルギーを取り入れよう

【具体的な環境アクション】

- ・市民の誰もが取り組むこと
- ・事業者が取り組むこと
- ・市が取り組むこと（市の主な施策）

【重点的な環境指標】

環境目標2 循環型社会の展開

【目指す市の姿】

環境アクション③資源を大切に使う

・
・
・

目指す姿

アクション

点検・評価

環境目標1 地球温暖化への対応

目指す市の姿

市域全体に、環境へ配慮した省エネルギー行動と再生可能エネルギーの地産地消が浸透しています。

環境アクション

①電気や水を大切に使う

②再生可能エネルギーを取り入れよう

施策の考え方について

<第3次計画期間中の課題>

- ・環境指標である市内全域のCO2排出量については、R5目標値を達成しましたが、市の率先した省エネ行動、温室効果ガス排出抑制に係る市域全体での推進が不足しています。
- ・再生可能エネルギー設備導入に係る補助金交付件数が年々減少しているため、要件の見直しや拡充により更なる推進が必要です。
- ・脱炭素社会の実現に向け、より具体的で実効性のある施策の展開が必要です。

<第4次計画期間中に目指すべきこと>

- ・市事務事業における省エネ行動の徹底、環境へ配慮した公用車の導入・更新
- ・省エネにつながるライフスタイルの提案と情報提供
- ・公共施設における積極的な再エネ導入、人と地球に優しいゼロカーボン鉄道の研究検討
- ・エネルギーの地産地消、再エネ電力の見える化による環境学習の推進
- ・事業所での再エネ導入・利用の啓発、環境価値の理解促進
- ・公共交通における新たなエネルギーの活用と利用者利便の向上
- ・市内住宅における断熱リフォーム補助金の拡充と環境に配慮した家づくりの推進
- ・電気自動車等の次世代型自動車の普及促進
- ・森林の適正管理によるCO2吸収源対策の推進

環境目標2 循環型社会の展開

目指す市の姿

ごみの分別が徹底され、ごみの減量化、資源化が図られた循環型のまちづくりが継続しています。

環境アクション ③資源を大切に使おう ④焼却ごみを減らそう ⑤資源を循環させよう

施策の考え方について

<第3次計画期間中の課題>

- ・一般廃棄物のリサイクル率が年々減少し、R5目標値26.1%以上に対してR4のリサイクル率は16.7%と大きくかけ離れています。市民への呼び掛けにとどまらず、抜本的な対策が必要です。
- ・レインボープランによる生ごみ回収量は年々減少しています。ごみの分別の呼び掛けのほか、資源循環への参加意識を高める施策が必要です。
- ・地区子ども会による有価物集団回収は、少子化の影響により実施団体が減少しています。再資源化の促進のため、新たな方策が求められます。

<第4次計画期間中に目指すべきこと>

- ・ごみの発生抑制、適切な分別の徹底、特に可燃ごみに占める割合が高い雑紙等の資源化徹底の呼び掛け・食品ロス削減の啓発と市内事業所等から排出される食品残渣等の資源化
- ・リユース（再利用）の推進（お下がり品などの交換の場や機会の提供等）
- ・リサイクルに関する情報提供、資源循環の可視化による環境学習の推進
- ・紙、パルプ等の再資源化に関する新技術等の情報収集、新たな施策の検討
- ・プラスチックごみの削減、小型家電回収の継続
- ・有価物集団回収への奨励金交付や新たな方策の検討
- ・産業廃棄物の適正処理への指導の継続

環境目標3 安全安心な生活環境の保全

目指す市の姿

良好な大気、水環境が維持され、だれもが安心して健やかに暮らしています。

環境アクション

⑥住み心地の良いまちにしよう

⑦きれいな川を守ろう

施策の考え方について

<第3次計画期間中の課題>

- ・大気環境の保全や悪臭対策、騒音・振動等の公害対策について、未然防止への継続した取り組みが必要です。
- ・令和4年度末の公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽を合わせた普及率は86.4%で山形県平均や全国平均を下回っています。
- ・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進めていますが、設置者との合意形成が難しい事例もあり近年は設置基数が減少しています。
- ・不法投棄等の防止のため、監視巡回パトロールの強化が必要です。

<第4次計画期間中に目指すべきこと>

- ・大気中のダイオキシン類測定の継続
- ・野焼き防止の継続した呼び掛け
- ・家畜排泄物の適切な処理継続、指導、関係機関連携
- ・「長井市水道事業ビジョン」に基づく水道施設管路の耐震化
- ・下水道への接続啓発と下水道関連施設の計画的な整備
- ・合併処理浄化槽の新規設置の促進、浄化槽設置者に対する適正管理の周知徹底、河川等の水質維持
- ・関係機関と連携した不法投棄監視の巡回パトロール強化、モラル向上に向けた啓発活動
- ・太陽光パネルの不法投棄防止、適正な処分方法の周知や処分業者の情報提供
- ・危険空き家の所有者等による除却の支援、自然災害に強い生活基盤整備
- ・都市公園の計画的な長寿命化対策、河川空間の利活用や親水空間の整備による市民憩いの場の創出

環境目標4 多様で豊かな自然環境の継承

目指す市の姿

森林地域が適切に管理・保全され、保安林や水道水源として保護されています。

生物多様性につながる生態系や地域に伝わる文化財が適切に管理され、保全されています。

環境アクション

⑧ 豊かな自然環境を大切にしよう

施策の考え方について

<第3次計画期間中の課題>

- ・集落地域では、手入れが行き届かず荒廃の恐れがある里山林が増加しています。
- ・野生生物との共生、農作物への被害防止のため、里山の適切な管理保全が必要です。
- ・担い手の高齢化、後継者不足により農業経営戸数の減少しています。優良な農地の保全のため、既存の経営体の基盤強化と新規就農者の確保が必要です。
- ・森林経営管理制度を活用しながら森林の境界明確化を進め、意欲と能力のある林業経営者による森林整備の実施が必要です。

<第4次計画期間中に目指すべきこと>

- ・伐採後の再造林など森林の適正な管理による涵養機能の維持、CO2吸収源対策の推進
- ・レインボープランの循環型まちづくりの理念を活かした減農薬・減化学肥料栽培、有機農業等の環境に配慮した農業の推進、特別栽培農産物の生産拡大
- ・農地の多面的機能を活かすため、多様な人材を取り込んだ地域ぐるみの活動の展開による優良農地の持続的な保全
- ・「長井ダム水源地域ビジョン」に基づく長井ダム周辺環境の保全
- ・地域住民主体による「21世紀不伐の森」を育てる取組みの継続
- ・自然に親しむ“ながい百秋湖まつり”の継続と野川まなび館を拠点とした長井ダム湖面を活用したアクティビティの充実
- ・自然環境と歴史的環境とが調和した魅力ある景観の保持と良好な景観の形成

環境目標5 環境学習の推進

目指す市の姿

市民のだれもが環境にやさしい行動を実践しています。

環境アクション

⑨環境について考えよう

⑩みんなで一緒に取組もう

施策の考え方について

<第3次計画期間中の課題>

- ・人口減少や高齢化に伴い、地区活動やボランティア活動が縮小しています。さらに感染症の影響から集団での活動は減少傾向です。
- ・特に次世代を担う若い世代の自主的な行動を促すことが必要です。
- ・指標となっている環境情報提供の定義を明確にする必要があります。
- ・小中学校の活動における環境教育の捉え方について整理が必要です。地域を知る散策活動やSDGs学習など幅広い視点で捉えられる指標の検討が必要です。

<第4次計画期間中に目指すべきこと>

- ・（一社）長井市コミュニティ協議会による環境学習を含めた生涯学習の機会の創出と内容の充実
- ・飯豊少年自然の家での体験学習のほか、学校での教科学習や学校生活を通した総合的な環境学習の継続
- ・「長井ダム水源地域ビジョン」及び各地区の「地域づくり計画」に基づいた水資源及び水源地域に関する環境学習の推進
- ・長井ダム周辺のアクティビティや山岳観光を拠点とした体験型の環境学習の充実
- ・県教育部門と連携した講演会など、市民の感覚に触れる環境学習の支援
- ・花いっぱい運動や河川清掃など、より多くの市民が参加したくなる活動方法の検討